



学校保健委員会だより

令和8年2月3日
養 護 教 諭
宮 野 紘 代



学校保健委員会を開催しました！

本年度は、「目と心の健康」をテーマに、講師としてソーシャルワーカーの小松先生、学校運営協議会の皆さま、保護者様、児童保健委員会の子供たち、本校職員が参加しました。当日は、保健委員会の児童による発表や、小松ソーシャルワーカーからの講話、健康診断結果からの本校の健康課題などを話し合いました。



学校保健委員会の様子



児童保健委員会では、今年度行った「けがの防止」「健康な生活習慣」に関する取組みを報告しました。子供たちが可也小のみんなの健康のために、力を合わせて行った活動を伝えることができました。発表後は、子供たちにあたたかい言葉をかけていただき、ありがとうございました。

小松ソーシャルワーカーからは、今年度本校に設置された相談場所「ほっとルーム」での子供たちとの関わりや、関わりの中で大切なことについてお話がありました。また、本校の子供たちの様子も、ご参加の方々にお伝えしました。小松先生は、子供たちが、少しでもほっとできる場所や、気持ちを話せる場所を作っていきたいとのことでした。

子供たちからだけでなく、保護者の方々からの相談も受けられていますので、相談されたい方は、担任や保健室までお知らせください。



自殺対策基本法 一部改正

・子どもの自殺対策について「子どもが健やかに成長し心身の権利利益が守られるように社会全体で取り組むこと」を明記

学校などの責務

学校も「児童・生徒等の心の健康の保持増進や支援を行うよう努めること」が明示される。

健康診断結果からは、本校の視力検査の結果から視力低下についての課題と、それに対する保健指導や学習、教室の照度検査等の取組みについて話をしました。また、全国では若年者の自殺者が過去最多となり、自殺対策基本法の一部改正が行われ、「子どもの自殺対策」が強化されました。子供たちが健やかに成長するために社会全体で取り組むことが明記され、学校などの責務として「児童・生徒等の心の健康の保持増進や支援を行うよう努めること」が明示されました。これを受けて、今年度は心の健康に関する学習を充実させました。

ご参加された方々からのご意見

- ・心身の健康に関する学校の取り組みを知ることができて安心と感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・我が子には常に親以外に相談できる人を見つけることや、私が信頼できる方の名前を出して、困ったことは話したいんだと話しています。
- ・子供目線でのきめ細やかな対応をありがとうございます。
- ・子供の心理的要因には、親の言動も大きく影響すると思います。保護者への社会性に関するリテラシー向上の啓発発信をすると良いと思いました。PTAでもそのような取り組みができればと考えています。